

# 前期学校評価の結果をふまえての学校づくり

## 分かる授業づくりに向けて

約87%の児童・保護者に授業が分かりやすいと評価していただいています。しかし、13%の児童・保護者は、学習したことが十分に理解できていないと回答しています。学年が進むにつれ、学習への理解度が減っています。

また、分かりやすい授業を進めるという点では、教師自身不十分であるように感じています。授業が分かりにくいと答えた子に対しての支援がまだまだ足りないと考えています。すべての児童が、学習がわかるという指導や支援体制を確立していくよう、今後も努力していきたいと思えます。

## 基本的な生活習慣について

### \* 「早寝・早起き・朝ごはん」の取組

全国的に、「早寝・早起き・朝ごはん」の取組が進められています。早寝・早起き・朝ごはんや歯磨きなどの基本的な生活習慣を身に付けることは、子どもたちの学習意欲や活動を支えると考えています。アンケート結果を見ても、十分満足できるとはいえません。規則正しい生活習慣の確立に向けて、学校・保護者・地域が協力して取り組んでいきたいと思えます。

### \* 「あいさつ」と「正しい言葉遣い」

保護者・地域の方々・教職員が共に「あいさつができていない。」「正しい言葉遣いができていない。」という回答をしています。

10月21日に開かれた「学校運営協議会」でも、あいさつができる子になってほしいという意見が多数出されました。重点項目として今後も取り組んでいきます。

## 人権教育・道徳教育等について

約92%の児童が学校は楽しいと答えています。また、約95%の保護者の方が、「子どもたちは学校が楽しい。」と回答しておられます。しかし、「困ったことがあれば先生に相談している。」「学校の様子を家で話している。」と回答している児童の割合が低いのが気にかかります。

学級や家庭で何でも話せるような雰囲気を作り出すことができるよう、家庭との連携を密にしていきたいと思えます。

保護者の方から「学力も大切だと思うけど、公園の利用の仕方や人との関わり方、公共の場でのマナー等、道徳的なことも学んでほしい。」という意見も寄せられました。児童のアンケートで「学校や学級のきまりを守っていない」という回答がありました。家庭・地域・学校が協力しながら、地域ぐるみで子どもを見守っていきたく思います。

## 学校行事や地域行事への参画について

学校行事はもちろんのこと、地域行事にも進んで参加・協力しようという思いが伝わってきます。しかし、懇談会等においては、人数が増えません。教職員においても、「保護者・地域」との関わりが課題として考えています。

児童を真ん中において、学校と家庭の協力・連携を強め、両者の意思疎通の場としての懇談会の充実を今以上に進めていきたいと思えます。

今後「保護者・地域・学校」が共に協力していく体制作りを進め、「開かれた学校づくり」の更なる推進に向けて取り組んでいきます。

伏見住吉小学校は、学校教育目標である「自ら学び、チャレンジし、共に伸びていく子ども」の育成に向けて、学校づくりに取り組んでいます。自ら課題を追究することを通して、考える力を高める授業づくりを進める中で、特に「読解力を育てる」授業づくりに取り組み、「聞く、読む、書く、話す」ことを学校全体で大切にし、学習の中に取り入れてきました。子どもたちは、自分の思いをしっかりと伝えることができるようがんばっています。

## 児童の学力向上に向けて

### \* 基礎的・基本的な学力としての「漢字の力」「計算の力」について

◎コミュニケーション能力の基礎である「話す・聞く・書く・読む」力は、まだまだ不十分であるという回答でした。特に、「聞く姿勢」や「短くまとめて書く」指導については、今後の学習において課題を残しています。

◎保護者の方の意見より

#### ・「漢字ステップの使用について」

「国語の教材の中で読み深めていくと共に覚える方が、生きた漢字として身につくのではないか？」という意見が出されました。次年度への取組の参考にしていきたいと思えます。

#### ・「漢字の定着率が悪いので不安である」「正しい書き順をしっかりと指導してほしい。」

漢字の練習方法の改善をし、学年・学級だより等でお知らせします。

学校では、月曜日の5時間目をはぐくみタイムとして漢字の練習の時間としています。より、効率的に覚えることができるよう取り組んでいきます。

#### ・「計算する力」が不十分である。

毎日、5時間目の始まる前の13:45~13:55の10分間を計算タイムに当てています。今後も朝学習や家庭学習の充実に取り組んでいきます。

◎家庭学習の充実

学力の定着を図る意味においても、家庭での「読書」や家庭学習の定着等を、より一層、保護者の方々と共に進めていきたいと考えています。4月に懇談会で示しました家庭学習の時間の達成のために、ご家庭と連携して進めていきたいと思えます。

## 開かれた学校づくりについて

子どもたちに「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心と体」を育み、自他の幸福を考え、将来の社会を担っていける高い学力と規範意識を身につけた人間を育てていくには、学校・家庭・地域が一体となって取組を進めていくことが大切です。そのために、本校は、「地域の子は地域で育てる」の理念を地域・保護者の方々と共有すべく、「開かれた学校づくり」へ向けての取組をすすめてきました。子どもたち・教職員・学校の「今」の様子をより早く知っていただき、評価いただくために、本校教育活動の情報提供の主なものは、自由参観日・休日参観日・運動会・学習発表会・入学式・卒業証書授与式など子どもたちの学習の様子を公開、学校だより・学級通信・PTAだより・保健室だよりなどの活字媒体があります。今後も、教育目標の具現化へ向けた努力を、子どもの姿・教職員の姿・学校の姿を通して発信していきます。

また、今後の課題として、ホームページの充実や学級だよりのリアルタイムな発行などに取り組んでいきます。

## 安全・安心な学校づくりについて

見守る会の感謝の言葉が多数寄せられました。本当にありがたく思っています。児童の安全に対する取組として、

「不審者情報の迅速なメール発信」や「必要な場合の緊急時の集団下校の徹底」を行っていきます。緊急時調査票を配布させていただきますのでご記入ください。

学校もパトロールなどを行い、児童の安全の確保に努めますが、保護者の皆様も、登下校時、お時間の許す限り、立っていただければありがたいです。